

遺愛生のためだけの特別プログラム

"English Village @ 秋田国際教養大学"

秋田国際教養大学では遺愛生だけの宿泊英語学習プログラムが用意されています。秋田国際教養大学が主催する "English Village" です。通常は "English Village" は全国の中高生に募集して行われますが、**今回のプログラム（2月7日～9日）は遺愛生のためだけに限定された特別なプログラム**です。その様子を引率して下さった教頭の井本先生に報告していただきます。

…このプログラム、第一回が行われた翌年はコロナ禍で突如中止となりました。それもあってか、今回、コロナ開け初めての募集はすぐに上限の 40 名に達しました。参加した 40 名、中学 3 年生から高校 2 年生は 2 泊 3 日英語漬けとなりました。

初日、新幹線と特急電車を乗り継ぎ秋田国際教養大学に到着。プログラムの最初は自己紹介（もちろんすべて英語）から始まり、英語の極意から発音記号についての講義を受けました。参加した生徒は「そうやって英文を考えればいいんだ!」とか、「それなら自分もできるかも」と自信をつけ始めました。

二日目、ホテルでの朝食を終えるとすぐにバスで大学に移動。8 時 15 分から早速講義と演習が始まります。英会話の極意、インタビューの方法などを学びました。英語の会話が續かない、何を質問していいかわからない、なんと答えていいのかわからないといった課題を解決する方法をしっかりと教わります。"English Village" のすばらしいところは、学びの後すぐに実践に移ります。グループごとに留学生を迎えて質問攻めにします。今まで聞いてみたかったこと、今まで英語ではどうしても質問できなかったことも、ずいぶんこなせるようになってきました。そのあとの昼食時の英語での会話もとてもはずみました。午後からは、いよいよ最終プレゼンに向けての準備がまします。国際教養大学のプログラムのすばらしさはプレゼンテーションの「いろは」から学びます。まったく同じ内容（セリフ）のプレゼンを何人かのプレゼンターが違った方法で見



せてくれます。どのプレゼンが分かりやすいか、どちらが説得力があるプレゼンかについて討論します。そうやって効果的なプレゼンについて学んでいきます。次にプレゼンのテクニックについて学び、すぐに実践。まずは、皆の前で話す緊張感を体験します。その上で、どのような内容が良いのか、何を伝えるのかについて考えます。プログラムの最後のキャンパスツアーで有名な大学図書館にも行きました。さすが世界ベスト 20 に入る図書館、圧巻でした。

いよいよ最終日、昨日同様学生スタッフの皆さんの出迎えをうけ、それぞれのグループワークに向かいます。プレゼンテーションに向けて最終チェックとリハーサルです。最終プレゼンテーションでは、グループで決めたテーマをスライドを使ってプレゼンします。たった三日間ですが、ひとりひとりの英語力は抜群に伸びたと思います。プレゼンはみんなの投票で最優秀チームが決定します。最優秀チームには AIU のマグがプレゼントされました。集合写真を撮って、最後の食事はカレーライス。ほんとうに楽しい三日間でした。